35mm COMPACT CAMERA

準備編

基本編

応用編

NPシステム対応

使用説明書

ご使用前に必ずお読みください。

202B11379310 J

この使用説明書について

1 フィルムを入れる

外箱とパトローネ（フィルムの容器）にDXマークがある35mmフィルムを使用します。

❶ フィルムが装てんされていないこと、フィルムカウンターが表示されていないことを確認します。

❷ 裏ぶた開放つまみをゆっくりと動かします。

❸ 裏ぶたを開けます。

基本編

●DXマークのないフィルムはISO100の感度にセットされます。
●フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
●フィルムを装てん・取り出すときに、レンズ部を触ったり、内部にゴミやホコリが入らないようにご注意ください。レンズ部が汚れたり、ゴミやホコリが入ってしまったら、42ページの「取扱上のお願い」を参考にカメラを清掃してください。
❷撮影途中のフィルムが入っているときは絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムを取り出す場合は、24ページをご参照ください。
❸裏ぶたに無理な力を加えないでください。

17

操作の説明

☞：カメラの動作、参考になる情報
➜：参照ページ

注意していただきたいこと

丸数字は操作説明部の手順番号を示しています。

カメラの特長

■ 35mm コンパクトカメラ

● スーパーEBCフジノンレンズ　● 28mm〜56mmの2倍ズーム
● NP システム対応：「フジカラーNATURAフィルム」などのISO800以上のフィルム使用時、カメラが被写体の明るさを感知し、その明るさに応じて、最適な露出制御（0〜+2EV）を行います。
特に夜景撮影時、室内撮影時、フラッシュOFFでも被写体や背景をより明るく描写します。
● フラッシュボタンでフラッシュのON/OFFを切り替えられる
リトラクタブル式スーパーデジタルプログラム（DP）フラッシュ搭載
● セルフタイマー（10秒／2秒）／リモコン機能付き　● 露出補正機能付き

目次

J 日本語

準備編
基本編
応用編

同梱品

この製品には、カメラ本体以外に以下の付属品が同梱されています。箱を開けたときにご確認ください。

- □ リチウム電池 CR2 1本（カメラにセット済み）
- □ ストラップ
- □ ソフトケース
- □ 使用説明書
- □ 保証書

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

絶対に分解しないでください。感電の恐れがあります。

落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感電する恐れがあります。

カメラ（電池）が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの恐れがあります（電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください）。

フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気をつけてください。

カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の恐れがあります。

引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの恐れがあります。

カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息する恐れがあります。

電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

 指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の恐れがあります。

 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師の診察を受けてください。

⚠ 注意

 カメラをぬらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感電の原因となることがあります。

 自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となることがあります。

 電池の⊕⊖を誤って装てんしないようにご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

CE	このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。 （CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

各部の名称

セルフタイマー（➜P.35）／
リモコン（➜P.37）ランプ
AF（オートフォーカス）窓
リモコン受信部（➜P.37）
フラッシュ発光部
（➜P.24）
シャッターボタン（➜P.20）
ズームレバー（➜P.19）
ファインダー窓
AE受光窓
電池ぶた（➜P.12）
ストラップ取り付け部
（➜P.11）
撮影レンズ／
レンズカバー
（➜P.13）

液晶表示部（➜P.6）
スローシャッター（➜P.31）
セルフタイマー（➜P.34）
リモコン（➜P.36）
日付（➜P.14、16）／露出補正（➜P.42）
遠景（➜P.38）
露出補正（➜P.42）
発光停止
強制発光（➜P.24）
フラッシュ充電中（➜P.9）
赤目軽減（➜P.32）
電池容量（➜P.13）
フィルムカウンター（➜P.17）
NP モード（➜P.40）

ファインダー接眼部（➜P.5）
フラッシュボタン（➜P.24）
裏ぶた開放つまみ（➜P.17、25）
シャッターボタン（➜P.20）
選択ボタン（➜P.7）
電源ボタン（➜P.13）
メニューボタン（➜P.7）
➜ボタン（➜P.7）
露出警告ランプ（赤）（➜P.9）
AFランプ（緑）（➜P.9）

●ファインダー

撮影範囲フレーム

このフレーム内で構図を決めます。

AF（オートフォーカス）フレーム

被写体（写したいもの）にこのフレームを合わせます。

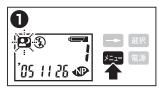
近距離補正マーク

近距離撮影するときには、このマークを目安に構図を決めます（➜21ページ）。

メニュー・モード一覧

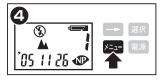
LCD	モード	使用例など	参照ページ
	スローシャッターモード	スローシャッターにすることにより、暗いところでもきれいに撮影したいとき	31
	赤目軽減モード	赤目現象を軽減したいとき ＊フラッシュ OFF 時は選択できません。	32
	セルフタイマーモード	撮影者自身も一緒に撮りたいとき／暗いところなどの撮影で、手ブレを防止したいとき ● シャッターボタンを押すとタイマーが作動して、自動的にシャッターが切れます。 ● セルフタイマー作動時間を 10 秒／ 2 秒から選択できます。	34
	リモコンモード	カメラから離れてシャッターを切りたいとき ● 専用リモコンが必要です。	36
	遠景モード	風景などの遠方撮影	38
NP	**NP モード**	「フジカラーNATURA フィルム」などのISO800以上のフィルム使用時、カメラが被写体の明るさを感知し、その明るさに応じて、最適な露出制御 (0 ～ +2EV) を行います。特に夜景撮影時、室内撮影時、フラッシュ OFF でも被写体や背景をより明るく描写します。	40
	露出補正モード	カメラが決める標準的な露出を意図的に変えたいときに使用します。 ● 設定範囲：± 2.0EV (0.5 ステップ) ＊ NP モード設定時は選択できません。	42

モード	LCD	表示	使用例など	参照ページ
日付モード	'05 11 26	年 月 日		16
	11 26 '05	月 日 年		
	26 11 '05	日 月 年		
	26 18:15	日 時 分		
	OFF	日付写し込みなし	日付を写し込みたくないとき	

メニュー・モードの切り替え方

❶ メニューボタンを押して、メニュー・モードの選択に入ります。

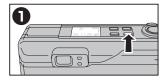
❷ →ボタンを押して、選択したいモードを点滅させます。

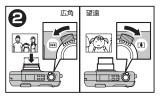
❸ 選択ボタンを押して、選択したいモードをゆっくりの点滅に切り替えます。

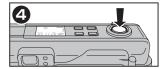
☞ゆっくりの点滅：選択
　早い点滅：選択しない　を表します。

❹ メニューボタンを押して、決定します。

☞決定したモードが表示されます。

使い方早わかり

簡単！オート撮影するには

❶ 電源ボタンを押して、電源を入れます。

＊液晶表示部に“🄫”（フラッシュ発光停止）が表示されます。このカメラは自動的にはフラッシュは光りません。

❷ ズームします。

❸ 構図を決めます。

❹ シャッターを切ります。

この操作だけで、きれいな写真が撮影できます。詳しくは19ページ～をご参照ください。

AFランプ・露出警告ランプ・ブザー音について

AF ランプ（緑）	露出警告 ランプ（赤）	液晶 表示部	ブザー	表示内容と対処方法
点灯	—	—	—	撮影可能です（測距、測光完了）。 ☞シャッターボタンを押して撮影してください。
点滅	—	—	—	ピントが合いません。 ☞ ●0.4m以上離れ、AFフレームに被写体が入るようにしてください。 ●AFの苦手な被写体のため、AFが働きません。撮りたい被写体と同じような距離、明るさの被写体に AFフレームを合わせ、AFロック撮影してください（➜23 ページ）。
—	早い点滅	"ϟ" 点滅	ピ、ピ、ピ	明るさが不十分で、写真全体が暗くなる可能性があります。 ☞フラッシュを ONにして撮影することをおすすめします（➜24 ページ）。
—	ゆっくり 点滅	"ϟ" 点滅	ピー、ピー、ピー	<スローシャッターモード使用時の露出警告> 明るさが不十分で、手ブレの可能性があります。 ☞フラッシュを ONにするか（➜24 ページ）、三脚をご使用ください。
—	—	"ϟ" 点滅	—	フラッシュ充電中です。 ☞シャッターは切れません。フラッシュの充電が完了（"ϟ" が点灯）するまで、お待ちください。

- ブザー音はON/OFFが切り替えられます。
- ブザー音の切り替え方
  ①電源ONのとき、メニューボタンを押しながら選択ボタンを押します。
  ☞ブザー音の設定が表示されます。
  ●ブザー音ON："b On"　●ブザー音OFF："b OF F"
  ② 選択ボタンを押すと、ブザー音のON/OFFが切り替えられます。
  ③ メニューボタンを押して、決定します。

NP モードについて

NP モードは、超高感度フィルムの性能を最大限に引き出すモードです。

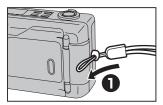
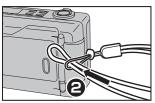
カメラが被写体の明るさを感知し、その明るさに応じて、最適な露出制御(0〜+2EV)を行います。特に夜景撮影時、室内撮影時、フラッシュOFFでも被写体や背景をより明るく描写します。

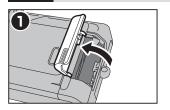
「フジカラーNATURAフィルム」などのISO1600以上のフィルムをカメラに入れると、自動的に NP モードになり、“ NP ”が表示されます。

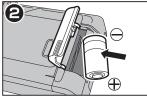
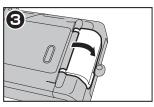
☞ NP モードを解除することもできます(➔40ページ)。

☞ISO800のフィルム使用時、フィルムを入れたときには NP モードになりませんが、NP モードに切り替えることができます(➔40ページ)。

● ISO400以下のフィルムでは NP モードに設定できません。

ストラップの取り付け

ストラップ取り付け部にストラップを通し、取り付けます。

●市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。

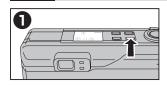
2 電池を入れる ＊工場出荷時に電池はセットされています。

■使用する電池
リチウム電池
フジフイルム リチウム CR2 1本

❶ 電池ぶたを開けます。

❷ 表示に従って⊖側から電池を入れます。

❸ 電池ぶたを閉めます。

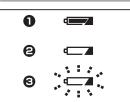
- リチウム電池では約400コマ撮影できます（当社試験条件による）。
- 旅行やたくさん写真を撮られるときは、万一の場合に備えて予備の電池をご用意ください。特に海外では地域によっては電池の入手が困難な場合があります。
- 電池を交換したときは必ず日付を合わせてください（➔14ページ）。

❶ 電池ぶたに無理な力を加えないでください。

3 電源ON/OFF・電池容量のチェック

❶ 電源 ボタンを押して電源を入れます。もう一度押すと電源が切れます。

☞電源を入れるとレンズカバーが開き、液晶が表示されます。

☞電源を入れると、オート撮影の設定になります(➔19ページ)。

電池容量のチェック

電源を入れ、液晶表示部で電池容量をチェックします。

❶点灯：電池の容量はOKです。

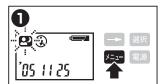
❷点灯：電池の容量が不足しています。新しい電池を準備してください。

❸点滅：電池容量がなくなったため、シャッターは切れません。新しい電池に交換してください。

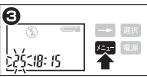
- 電源を入れたまま約5分間放置すると、電源は自動的に切れます。
- **電源を入れるときに、レンズ部を指で押さえないでください。**
- **撮影前には必ず電池容量をチェックしてください。**
- 電池の交換は撮影途中のフィルムが入っていても可能です。

日付の合わせ方

日付を変更するには

❶ 電源を入れ、メニュー ボタンを押します。

☞モードの選択に入ります。

❷ → ボタンを押して、日付を点滅させます。

☞日付モードを選択します。

❸ メニュー ボタンを2秒以上押し続けます。

☞ "日" が点滅し、日付の修正に入ります。

❹ 選択 ボタンを押して、点滅している数字を修正します。

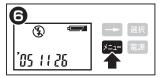
■設定範囲
年：'05～'35（2005年～2035年）
月：1～12　　日：1～31
時：0～23　　分：00～59

● "年月日"は"時分"に連動して変わります。

＊工場出荷時に日付はセットされています。

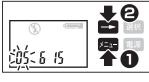
❺ ➡ ボタンを押すと、設定項目（日・時・分・年・月）が変わります。

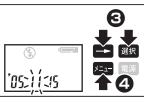
☞選択中の項目が点滅します。

❻ 日付合わせが終了したら、メニュー ボタンを押します。

☞設定した日付が表示されます。

☞時報に合わせたいときは時報のゼロ秒時にメニューボタンを押します。

電池交換後、日付を合わせるには

❶ メニューボタンを押します。

❷ ➡ ボタンを押して、日付モードを選択します。

☞年'05が点滅し、日付の設定に入ります。

❸ 前項の❹～❺と同様に、選択 ボタンと ➡ ボタンで日付を合わせます。

❹ メニューボタンを押して、決定します。

準備編

5 日付モードの選択

❶ 電源を入れ、メニューボタンを押します。

☞モードの選択に入ります。

❷ →ボタンを押して、日付を点滅させます。

☞日付モードの選択に入ります。

❸ 選択ボタンを押して、日付モードを選択します。

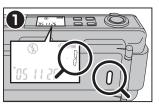
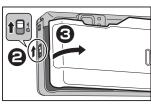
❹ メニューボタンを押して決定します。

☞決定したモードが表示されます。

選択した日付モードが写真の右下に写し込まれます。

- "OFF" を選択すると、写真に日付は写し込まれません。
- 写し込まれた日付表示が背景によっては見えにくくなる場合があります。
- 日付の写し込みはフィルムが次のコマに巻き上げられるときに行われますので、規定枚数以上撮影した場合、最後のコマは写し込まれないことがあります。

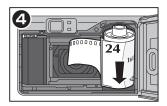
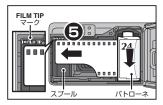
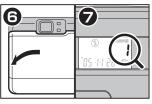
1 フィルムを入れる

外箱とパトローネ（フィルムの容器）にDXマークがある135フィルムを使用します。

❶ フィルムが装てんされていないこと、フィルムカウンターが表示されていないことを確認します。

❷ 裏ぶた開放つまみをゆっくりと動かします。

❸ 裏ぶたを開けます。

- **DXマークのないフィルムはISO100の感度にセットされます。**
- **フィルムの装てん・取り出しは、直射日光を避けて行ってください。**
- **フィルムを装てん・取り出すときに、レンズ部を触ったり、内部にゴミやホコリが入らないようにご注意ください。レンズ部が汚れたり、ゴミやホコリが入ってしまったら、48ページの「取扱上のお願い」を参考にカメラを清掃してください。**

❷撮影途中のフィルムが入っているときは絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムを取り出す場合は、25ページをご参照ください。

❸裏ぶたに無理な力を加えないでください。

❹ フィルムを入れます。

❺ パトローネを押さえながら、フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出し、スプールの上にのせます。

❻ 裏ぶたを閉めます。

☞フィルムが自動的に1コマ目まで送られます。

❼ "1" が表示されていることを確認します。

☞「フジカラーNATURAフィルム」などのISO1600以上のフィルムを入れると、" NP " が表示されます(➔40ページ)。

- ❺フィルムが浮き上がらないように、パトローネの角度を調節してください。
- ❺フィルムの先端がスプールの上にのっていることを確認してください。
- ❺フィルムを長く引き出しすぎたときは、フィルムを一度取り出して、長さを調節してください。
- ❻フィルム確認窓から、装てんしたフィルムの種類、フィルム枚数、フィルム感度が確認できます。
- **❼フィルムが正しく装てんされていないと、"E" が点滅し、シャッターが切れません。撮影可能なフィルムを正しく装てんし直してください。**

2 撮影しよう

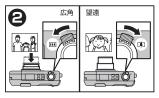
電源を入れると、オート撮影の設定になります。ここでは、オート撮影の方法を紹介します。

<構え方>

❶ 電源を入れ、両脇を締め、カメラを両手でしっかり構えます。

☞縦位置撮影ではフラッシュ発光部が上にくるように構えます。

基本編

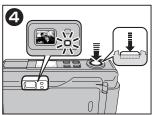
<ズーム>

❷ 被写体を大きく写したいときは、ズームレバーを[♠]側に押して、望遠側にズームします。
広い範囲を写したいときは、ズームレバーを[♠♠♠]側に押して、広角側にズームします。

- **大切な撮影（結婚式や海外旅行、業務用途など）の前には試し撮りをして、カメラが正常に機能することを確認してください。**

❶レンズやフラッシュ発光部、AF窓、AE受光窓に指やストラップが掛からないようにご注意ください。
❷撮影距離：0.4m〜∞

<構図の決め方>

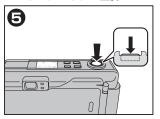
❸ AFフレーム全体を被写体が満たすようにねらいます。

<シャッターボタン半押し>

❹ シャッターボタンを半押しします。

☞AFランプ（緑）が点灯したら、ピント合わせは完了です。

❹被写体に約40cmより近づくと、AFランプ（緑）が点滅し、ピントが合わないことを警告します。さらに約20cmより近づくと、AFランプ（緑）が点灯することがありますが、ピントは合いません。

❹暗いところなどの撮影で明るさが不十分なとき、露出警告ランプ（赤）と液晶表示部の“ϟ”が点滅し、ブザーが鳴ります（➔9ページ）。写真全体が暗くなる可能性がありますので、フラッシュをONにして撮影することをおすすめします（➔24ページ）。

<シャッターボタン全押し>

❺ シャッターを切ります。

☞フィルムが次のコマまで送られます。
☞フィルムカウンターの数字は撮影のたびに1コマずつ増えていきます。

●近距離撮影の場合

撮影距離が約1mより近い場合は、上図の　の範囲が写ります。被写体が　の範囲内に収まるように構図を決めます。

❺フラッシュ充電中（液晶表示部の"ϟ"点滅中）はシャッターは切れません。
❺AFランプ、セルフタイマー／リモコンランプは、いったん消えてからシャッターが切れた直後にもう1回点灯します。

●近距離撮影では、ファインダー窓から見える範囲と写る範囲にズレが生じます（ファインダー窓と撮影レンズの位置が違うため）。近距離補正マークは、ファインダー窓から見える範囲と実際に写る範囲の目安になります。

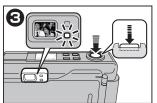
●AFの苦手な被写体について

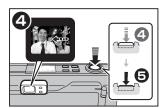
次のような場合、まれにピントが合わないことがあります。このようなときは、AFロック撮影（➜23ページ）、▲モード撮影（➜38ページ）を行ってください。

- ●被写体の近くに太陽などの明るい光源や反射光（車のフロントガラス、波の反射など）がある場合
- ●画面の中央部付近に鏡、金属面などの反射面がある場合
- ●髪の毛などの黒くて光を反射しにくい被写体の場合
- ●炎や煙などのように実体のないものの場合
- ●ガラス越しの撮影の場合

3 AF(オートフォーカス)ロック撮影

❶ このような構図ではAFフレームが被写体(この場合は人物)から外れています。このままでは被写体にピントが合いません。

❷ AFフレームに被写体が入るようにカメラを動かします。

❸ そのままシャッターボタンを半押し(AFロック)します。

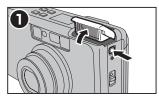
☞AFランプ(緑)の点灯を確認します。

❹ シャッターボタンを半押し(AFロック)したまま最初の構図に戻して、

❺ シャッターを切ります。

- AFロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。

4 フラッシュ撮影

暗いところや逆光などでの撮影で、フラッシュを使用したいときに操作します。

- スーパーデジタルプログラム（DP）フラッシュモードになり、被写体の明るさや距離に応じて、フラッシュの光量を自動的に調節します。

❶ ⚡ボタンを押します。

☞フラッシュがポップアップします。

❷ 構図を決めて、シャッターを切ります。

☞フラッシュがポップアップしているときは、いつでもフラッシュが発光します。

●フラッシュ撮影距離

フィルム感度によってフラッシュ光の届く距離が異なります。
暗いところではフラッシュ撮影距離に注意して撮影してください。

フィルム感度	広角（28mm）	望遠（56mm）
ISO100	0.4m ～　4.0m	0.4m ～ 2.0m
ISO400	0.4m ～　8.0m	0.4m ～ 4.0m
ISO800	0.4m ～ 12.0m	0.4m ～ 5.6m
ISO1600	0.4m ～ 16.0m	0.4m ～ 8.0m

（カラーネガフィルム使用時）

5 フィルムを取り出す／撮影途中でフィルムを取り出す

フィルムを取り出すには

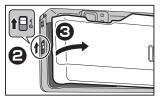
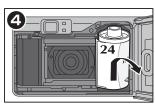
❶ 最後の1コマを撮り終わると、レンズが収納され、フィルムが自動的に巻き戻されます。

☞巻き戻しが完了すると、“E”が表示されます。

❷ 裏ぶた開放つまみをゆっくりと動かします。

❸ 裏ぶたを開けます。

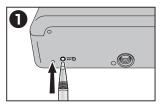
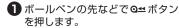
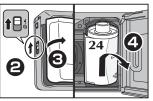
❹ フィルムを取り出します。

基本編

- **フィルムを取り出すときに、レンズ部を触ったり、内部にゴミやホコリが入らないようにご注意ください。**
- **規定枚数以上撮影できる場合がありますが、最後のコマはプリントされないことがあります。**

❸裏ぶたに無理な力を加えないでください。

- **必ずモーターが止まり“E”が表示されたことを確認してください。“E”が表示される前に裏ぶたを開けようとすると、次のような恐れがありますのでご注意ください(➔27ページ)。**
  - **フィルムが感光する。**
  - **次のフィルムを入れたときすぐに巻き戻されてしまい、“E”が表示される。**

撮影途中でフィルムを取り出すには

❶ ボールペンの先などで ⊙◂◂ ボタンを押します。

☞巻き戻しが完了すると、“E” が表示されます。

❷ モーターが止まり “E” が表示されたことを確認してから、フィルムを取り出してください。

- **巻き戻したフィルムは再撮影できません。撮影途中でフィルムを現像に出したいとき以外は、⊙◂◂ボタンを押さないでください。**
- ⊙◂◂ボタンは先端のとがったもので押さないでください。

●カメラにフィルムが入っているときのご注意

● 撮影途中のフィルムが入っているときには、絶対に裏ぶたを開けないでください。

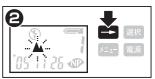
☞フィルムが入っているときに裏ぶたを開けてしまったら、そのまま裏ぶたを閉めてください。

● 裏ぶたを閉めると、自動的にフィルムが巻き戻され、"E"が表示されます。
● 巻き戻されたフィルムは再撮影できません。

基本編

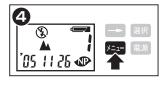
1 メニュー・モードの切り替え

❶ 電源を入れ、メニューボタンを押します。

☞"👥"が点滅し、メニュー・モードの選択に入ります。

❷ ➡ボタンを押して、選択したいモードを点滅させます。

☞➡ボタンを押すごとに、モードが切り替わります。

❸ 選択ボタンを押して、選択したいモードをゆっくりの点滅に切り替えます。

☞モードを選択しているときにはゆっくりの点滅、選択していない場合には早い点滅になります。

❹ メニューボタンを押して、決定します。

☞決定したモードが表示されます。

●メニュー・モード一覧

LCD	モード	使用例など	選択の可／不可	モードの解除	参照ページ
	スローシャッターモード	スローシャッターになります。 ● 暗いところでもきれいに撮影できます。 ● フラッシュ ON時は、夜景などの背景と人物の両方をきれいに撮影できます。	○	1コマ撮影後は保持。電源が切れると解除。	31
	赤目軽減モード	撮影前にフラッシュが7回プレ発光し、8回目に撮影のためのフラッシュが発光します。 ● 赤目現象を軽減します。	フラッシュON時のみ選択可。	1コマ撮影後、電源を切った後も保持。 ＊フラッシュOFFのときは表示されません。	32
	セルフタイマーモード	シャッターボタンを押すとタイマーが作動して、自動的にシャッターが切れます。 ● 撮影者自身も一緒に撮りたいとき／暗いところなどの撮影で手ブレを防止したいときに使用します。 ● セルフタイマー作動時間を10秒／2秒から選択できます。	○	1コマ撮影ごとに解除。	34
	リモコンモード	カメラから離れてシャッターを切ることができます。 ● 専用リモコンが必要です。	○	1コマ撮影後は保持。電源が切れると解除。	36
▲	遠景モード	ピントが遠方にセットされます。 ● 風景などの遠方撮影に使用します。 ＊フラッシュは発光しますが、遠方の被写体にはフラッシュ光は届きません(24ページ「フラッシュ撮影距離」参照)。	○	1コマ撮影ごとに解除。 ＊モード決定時にメニューボタンを2秒以上押すと(“▲”点滅)、1コマ撮影後も保持。電源が切れると解除。	38

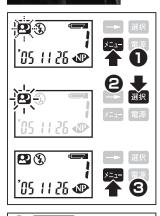
応用編

メニュー・モードの切り替え

LCD	モード	使用例など	選択の可／不可	モードの解除	参照ページ
NP	NP モード	カメラが被写体の明るさを感知し、その明るさに応じて、最適な露出制御（0～+2EV）を行います。特に夜景撮影時、室内撮影時、フラッシュ OFFでも被写体や背景をより明るく描写します。 ● ISO1600使用時：フィルムを入れると、自動的に NP モードになります。 ＊ NP モードを解除することもできます。 ● ISO800使用時：フィルムを入れたときには NP モードになりません。NP モードにしたいときは、モードを切り替えてください。	ISO1600、800使用時のみ選択可。	撮影し終わったフィルムを取り出すと、設定解除。	40
±	露出補正モード	カメラが決める標準的な露出を意図的に変えたいときに使用します。 ● 設定範囲：± 2.0EV（0.5ステップ）	NP モード時は選択不可。	撮影し終わったフィルムを取り出すと、設定解除。	42
日付モード		’05 11 26　年 月 日	○	電池交換時に設定解除。	16
		11 26’05　月 日 年			
		26 11’05　日 月 年			
		26 18:15　日 時 分			
		OFF　日付写し込みなし			

2 スローシャッター撮影

スローシャッターにすることにより、暗いところでもきれいに撮影したいときに使用します。

- フラッシュON時にはスローシンクロモードとなり、夜景などの背景と人物の両方をきれいに撮影できます。

❶ 電源を入れ、メニューボタンを押します。

☞"🅿"が点滅し、メニュー・モードの選択に入ります。

❷ 選択ボタンを押して、"🅿"をゆっくりの点滅に切り替えます。

☞モードを選択しているときにはゆっくりの点滅、選択していない場合には早い点滅になります。

❸ メニューボタンを押して、決定します。

☞決定したモードが表示されます。

❹ 構図を決めて、シャッターを切ります。

☞通常よりもシャッターの開いている時間が長くなり、夜景などの背景も写せます。

☞明るさが不十分なときは、露出警告ランプ(赤)と液晶表示部の"ϟ"が点滅し、ブザーが鳴ります(➜9ページ)。
フラッシュをONにするか(➜24ページ)、三脚をご使用ください。

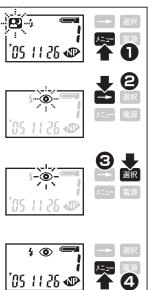
応用編

- 🅿モードは撮影後も解除されません。電源が切れると自動的に解除されます。
- シャッタースピードが遅くなりますので、手ブレ防止のため、三脚を使用してください。また、撮影中は撮られる人も動かないでください。

3 赤目軽減撮影

赤目現象を軽減します。

- **フラッシュON時のみ選択できます。**

＊フラッシュOFF時は表示されません。

❶ 電源を入れ、メニューボタンを押します。

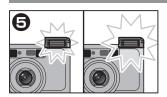
☞"" が点滅し、メニュー・モードの選択に入ります。

❷ →ボタンを押して、"◉" を点滅させます。

❸ 選択ボタンを押して、"◉" をゆっくりの点滅に切り替えます。

☞モードを選択しているときにはゆっくりの点滅、選択していない場合には早い点滅になります。

❹ メニューボタンを押して、決定します。

☞決定したモードが表示されます。

❺ 構図を決めて、シャッターを切ります。

☞撮影前にフラッシュが7回プレ発光し、8回目に撮影のためのフラッシュが発光します。

●赤目現象について

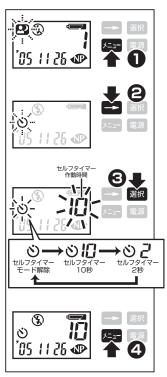
人物を暗いところでフラッシュ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これはフラッシュの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするためには、赤目軽減モードを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などをするとより効果的です。

- ◉モードは撮影後も、電源が切れても解除されません。
- プレ発光から撮影のためのフラッシュ発光までAFランプ(緑)が点灯し続けます。AFランプ点灯中はカメラを動かさないでください。

4 セルフタイマー撮影

撮影者自身も一緒に撮りたいときや、暗いところなどの撮影で手ブレを防止したいときに使用します。

❶ 電源を入れ、メニューボタンを押します。

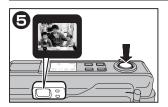
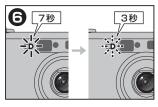
☞ "" が点滅し、メニュー・モードの選択に入ります。

❷ →ボタンを押して、"" を点滅させます。

❸ 選択ボタンを押して、セルフタイマー時間を選択します。

☞ 選択ボタンを押すと、セルフタイマー作動時間 "10":10秒→ "2":2秒→モード解除の順に切り替わります。

❹ メニューボタンを押して、決定します。

☞決定したモードが表示されます。

❺ 構図を決めて、シャッターボタンを押します。

❻ AFフレーム内に見えるものにピントが合い、設定したセルフタイマー作動時間経過後、シャッターが切れます。

- “10秒”を選択したときは、セルフタイマーランプが約7秒間点灯→約3秒間点滅した後、シャッターが切れます。
- “2秒”を選択したときは、セルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。

☞ブザー音設定時は、セルフタイマーランプの動きに合わせてブザー音が鳴ります(➜9ページ)。

応用編

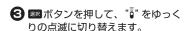
- モードは1回の撮影ごとに解除されます。
- AFロック撮影も可能です(➜23ページ)。
- **カメラの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケや露光不良になることがあります。**
- **スタートしたセルフタイマーモードを解除したいときは、メニューボタンを押してください。**

5 リモコン撮影

カメラから離れてシャッターを切りたいときに使用します。

リモコン撮影には専用リモコンが必要です。

矢印の方向にリモコンをスライドさせて、リモコンホルダーから外します。

- リモコンをリモコンホルダーに戻すときは、反対方向にスライドさせ、カチッと音がするまで押し込んでください。
- リモコンはイラストとタイプが異なる場合があります。

❶ 電源を入れ、メニューボタンを押します。

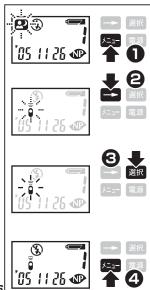
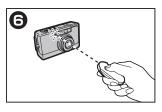
☞"ポートレート"が点滅し、メニュー・モードの選択に入ります。

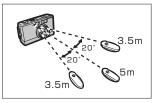
❷ →ボタンを押して、"リモコン"を点滅させます。

❸ 選択ボタンを押して、"リモコン"をゆっくりの点滅に切り替えます。

☞モードを選択しているときにはゆっくりの点滅、選択していない場合には早い点滅になります。

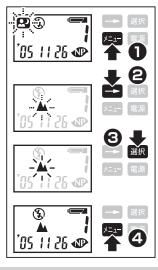
❹ メニューボタンを押して、決定します。

☞決定したモードが表示されます。

❺ AFフレームを被写体に合わせて、構図を決めます。

❻ リモコンをカメラのリモコン受信部に向けて、シャッター作動ボタンを押します。

☞リモコンランプが約2秒間点滅した後、シャッターが切れます。

リモコン操作が可能な範囲は、カメラ正面で約5m以内、上下左右各20˚で約3.5m以内です。

- リモコンモードは撮影後も解除されません。電源が切れると自動的に解除されます。
- リモコン撮影時は、三脚の使用をおすすめします。
- 逆光撮影時にカメラのリモコン受信部に直射日光が入っていると、リモコン撮影ができない場合があります。このようなときは、セルフタイマーモード(➔34ページ)を使用してください。
- 電池の寿命は約3年です(当社試験条件による)。リモコン撮影ができなくなったら、ご購入店または富士フイルムサービスステーションにお申し出ください。有償にて電池交換いたします。

6 ▲遠景撮影

風景をきれいに撮りたいときや、ガラス越しの遠景や遠い夜景の撮影などに使用します。

❶ 電源を入れ、メニューボタンを押します。

☞"😊"が点滅し、メニュー・モードの選択に入ります。

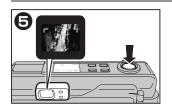
❷ →ボタンを押して、"▲"を点滅させます。

❸ 選択ボタンを押して、"▲"をゆっくりの点滅に切り替えます。

☞モードを選択しているときにはゆっくりの点滅、選択していない場合には早い点滅になります。

❹ メニューボタンを押して、決定します。

☞決定したモードが表示されます。

- ▲モードは1コマの撮影ごとに解除されます。
  連続してご使用になる場合は、▲モードをゆっくりの点滅に切り替えた後、約2秒間メニューボタンを押し続けてください（モード決定後、液晶表示部の"▲"が点滅し続けます）。撮影後も遠景モードが保持され、続けて撮影できます。電源が切れると自動的に解除されます。

❺ 構図を決めて、シャッターを切ります。

☞ピントが遠方に合い、遠方の被写体がきれいに撮影できます。

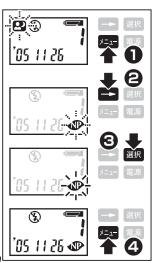
● フラッシュをONに設定すると、フラッシュは発光しますが、遠方の被写体にはフラッシュ光は届きません(24ページ「フラッシュ撮影距離」参照)。

7 NP モードの切り替え

NP モードは、超高感度フィルムの性能を最大限に引き出すモードです。

カメラが被写体の明るさを感知し、その明るさに応じて、最適な露出制御（0〜+2EV）を行います。特に夜景撮影時、室内撮影時、フラッシュOFFでも被写体や背景をより明るく描写します。

ISO1600とISO800のフィルム使用時には、NP モード（➔10ページ）に切り替えられます。

- **ISO1600のフィルム使用時**：フィルムを入れると、自動的に NP モードになります。NP モードを解除することもできます。
- **ISO800のフィルム使用時**：フィルムを入れたときには NPモードに設定されません。NP モードにしたいときには、切り替えてください。

❶ 電源を入れ、メニュー ボタンを押します。

☞"👤"が点滅し、メニュー・モードの選択に入ります。

❷ ➡ ボタンを押して、" NP "を点滅させます。

❸ 選択 ボタンを押して、" NP "をゆっくりの点滅に切り替えます。

☞モードを選択しているときにはゆっくりの点滅、選択していない場合には早い点滅になります。

❹ メニュー ボタンを押して、決定します。

☞決定したモードが表示されます。

❺ 構図を決めて、シャッターを切ります。

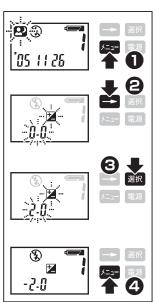
☞明るさが不十分な暗闇などでの撮影時、露出警告ランプ(赤)と液晶表示部の“ϟ”が点滅し、ブザーが鳴り、写真全体が暗くなる可能性があることを警告します(➔9ページ)。フラッシュをONにすることをおすすめします。

●ISO400以下のフィルムでは、NP モードに設定できません。
● NP モードは、撮影後や電源が切れても解除されません。撮影し終わったフィルムを取り出すと解除され、カメラの初期設定に戻ります。

8 露出補正

カメラが決める標準的な露出を意図的に変えることを露出補正といいます。背景が非常に明るい場合、逆に背景が非常に暗い場合などに使用します。

- NPモード時は露出補正機能を使えません。
  NPモード時は、適正露光に対して最大+2.0EVの露出補正を自動で行いますので、特にISO1600のリバーサルフィルム使用時には良好な結果が得られない場合があります。
  ＊ NPモード時は露出補正モードは表示されません。
- 露出補正は、フラッシュ発光停止時に使用すると効果がよく表れます。

❶ 電源を入れ、メニューボタンを押します。

☞"(ポートレート)"が点滅し、メニュー・モードの選択に入ります。

❷ →ボタンを押して、"(露出補正)"と"0-0"を点滅させます。

❸ 選択ボタンを押して、露出補正値を選択します。

☞選択ボタンを押すごとに、+0.5→+1.0→+1.5→+2.0→－2.0→－1.5→－1.0→－0.5→0.0の順に切り替わります。

❹ メニューボタンを押して、決定します。

☞設定した露出補正値が表示されます。
☞露出補正使用時には、液晶表示部に日付は表示されません。

＋（プラス）補正

スキー場での人物撮影など、背景が非常に明るい場合、被写体が暗く写ります。

＋補正

全体が明るめになり、被写体が自然に写ります。

ー（マイナス）補正

スポットライトを浴びた人物撮影など、背景が非常に暗い場合、被写体が白っぽく写ります。

ー補正

全体が暗めになり、被写体が自然に写ります。

- 露出補正モードは、電源が切れても解除されません。撮影し終わったフィルムを取り出すと、解除されます。
  - 露出補正を解除したいときは、露出補正値を“0.0”に戻してください。
  - ＊露出補正モードが解除されると、日付が表示されます。
- AE連動範囲外では露出補正はかかりません。
- フラッシュ撮影時、フラッシュが届く範囲は露出補正はかかりません。
- 露出補正使用時、液晶表示部に日付は表示されませんが、直前に選択した日付が写真に写し込まれます。
  日付を確認したいとき、日付モードを変更したいときは、ﾒﾆｭｰボタンを押してメニューの選択に入り、→ボタンを押して、日付を表示させてください（露出補正の次に表示されます）。

このようなときは

操作中このようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
シャッターが切れない。	①“ ”が点滅していませんか。 ②電源は入った状態にセットされていますか。 ③“ ”が点滅していませんか。 ④“E”が表示されていませんか。	①新しい電池に交換してください。 ②電源ボタンを操作して、撮影可能な状態にセットしてください。 ③フラッシュ充電中です。“ ”が点滅しなくなるまでお待ちください（フラッシュ充電時間は約5秒）。 ④フィルムを取り出して、未使用のフィルムを装てんしてください。	13 13 9 25
フィルムを入れて裏ぶたを閉めたが、“E”が点滅している。	●フィルムの先端をFILM TIPマークまで引き出していますか。あるいはFILM TIPマークよりも引き出しすぎていませんか。	●フィルムの先端がFILM TIPマークに合うようにフィルムの長さを調整し、正しく装てんし直してください。	18
フィルムを入れて裏ぶたを閉めたが、フィルムが巻き戻され、“E”が表示される。	●フィルムを取り出すときに、モーターが止まり“E”が表示される前に裏ぶたを開けませんでしたか。	●フィルムを取り出すときには、必ずモーターが止まり“E”が表示されたことを確認してから裏ぶたを開けてください。	25
NPモードが設定できない。	●ISO400以下のフィルムを使用していませんか。	●ISO400以下のフィルム使用時には、NPモードを選択できません。	40
途中でフィルムが巻き戻されてしまった。	●フィルムが入っているときに裏ぶたを開けませんでしたか。	●フィルムが入っているときは、裏ぶたを開けないようにご注意ください。	26

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
フィルムカウンターの数字が点滅している。	●撮影中のフィルムを巻き戻しせずに取り出しませんでしたか。	●フィルムを取り出してから電池を取り出し、電源ボタンを押してフィルムカウンターの表示が消えたことを確認します。その後、再度電池を入れてください。	27
◉モードが選択できない。	●フラッシュはONになっていますか。	●フラッシュOFF時には◉モードを選択できません。	32
液晶表示部に日付が表示されない。	●露出補正を設定していませんか。	●露出補正を設定しているときには、日付は表示されません。日付を表示したいときは、メニューボタンを押してメニュー･モードの選択に入り、➡ボタンを6回（ISO400以下のフィルム使用時は5回）押してください。	42
“⏱”が点滅し、シャッターが切れない。	●カメラの故障です。	●富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。	

プリントがこのようなときは…

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
画面がぼんやりしている。	①AF窓をかくして撮影しませんでしたか。	①AF窓をかくさないようにカメラを正しく構えてください。	19
	②被写体のねらい方は適切でしたか。	②AFフレームでねらって撮影またはAFロック撮影してください。	23
	③レンズが汚れていませんか。	③レンズをきれいにしてください。	48
	④カメラのブレではありませんか。	④カメラをしっかり構え、シャッターボタンを静かに押してください。スローシャッター時は三脚を使用してください。	19
	⑤近距離撮影時に▲モードで撮影していませんか。	⑤▲モード以外で撮影してください。	29
画面が暗い。	①露出警告ランプ（赤）が点滅していたのに、シャッターを切りませんでしたか。	①露出警告ランプ（赤）が点滅しているときは、明るさが不十分です。フラッシュをONにして撮影してください。	9
	②暗いところでの撮影で、フラッシュを使わずに撮影しませんでしたか。	②フラッシュをONにして撮影してください。	24
	③暗いところでのフラッシュ撮影で、被写体が遠すぎませんでしたか。	③規定のフラッシュ撮影距離内で撮影してください。	24
	④フラッシュ撮影時にフラッシュ発光部に指が掛かっていませんでしたか。	④フラッシュ発光部に指を掛けないでください。	19
	⑤窓際などの逆光撮影ではありませんでしたか。	⑤フラッシュをONにして撮影してください。	24

このようなときは	ここをチェック	こうしてください	参照ページ
日付が合っていない。	●電池を入れたとき、もしくは電池交換時に修正しましたか。	●電池を入れたとき、もしくは電池を交換したときは、日付を修正してください。	14
日付が写し込まれていない／はっきり写らない。	①日付モードを“OFF”にして撮影しませんでしたか。 ②日付の写る位置に、白・黄・オレンジなどの明るいものがありませんか。	①“OFF”以外の日付モードで撮影してください。 ②日付の写る位置に、なるべく明るいものがこないようにしてください。	16 16

取扱上のお願い

1. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。
   ①海辺や小雨の中などで使用するときは、水が掛からないようにご注意ください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
   ②落としたり、固いものにぶつけると故障の原因になります。また、振動が加わるところ（自動車のトランクなど）に放置しないでください。
2. このカメラはマイクロコンピューターによって制御されているため、ごくまれにカメラが誤作動する場合があります。このようなときは、電池をいったん取り出し、再度入れ直してください。
3. 長時間お使いにならないときは、高温・多湿・有害ガス（タンスの中のナフタリン、しょうのう他）・ホコリなどの影響の少ない、風通しの良いところに保管してください。
4. 閉めきった自動車の中などに長時間放置しないでください。
5. 飛行機をご利用の際、未現像のフィルムやフィルムの入ったカメラは機内持ち込みされることをおすすめします。預け入れ荷物に入れた場合、X線検査でカブリなどの影響が出る場合があります。
6. レンズ、AF窓、ファインダーなどが汚れたら、ブロアーブラシでホコリを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。それでも取れないときは、富士フイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて、軽くふいてください。アルコール、ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。
7. フィルム室にホコリがあると、フィルムを傷つけることがあります。ブロアーブラシで払って清掃してください。
8. フィルムの装てん･取り出しは、直射日光を避けて行ってください。
9. このカメラの使用温度範囲は−10℃〜+40℃です。
10. 寒冷地では電池の性能が低下しますので、衣服の内側に入れるなどして、温めてからご使用ください。なお一時的に性能の低下した電池は、常温に戻れば性能が回復します。

アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フイルムサービスステーションに直接お申し出ください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、裏面記載の富士フイルム イメージング株式会社各支社かお近くの富士フイルムサービスステーションをご利用ください。

●無料修理

故障した製品についてはご購入年月、販売店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

＊詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

●有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、下記のような場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月、販売店名が記入されていない場合、または記載事項が訂正された場合。
3. 富士フイルムサービスステーション以外で分解、修理されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取扱上の不注意（使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

●修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、お近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

●修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

なお、部品保有期間終了後でも修理できる場合もありますので、詳しくはご購入店かお近くの富士フイルムサービスステーションにお問い合わせください。

アフターサービスについて

●修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や富士フイルムサービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理料金が高く見込まれる修理のときは「○○○○円以上は連絡してほしい」と金額をご指定ください。ご指定のないときは9,000円以内の料金で修理完了する場合は修理をすすめさせていただきます。
5. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
6. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
7. 修理期間は故障内容により多少違いますが、厳重な調整検査を行いますので、普通修理品の場合は富士フイルムサービスステーションで、お預かりしてから通常7〜10日位をご予定ください。

●海外旅行中の故障

海外旅行中に故障した場合は、海外各地の富士フイルム海外現地法人または富士フイルム代理店をご利用ください。富士フイルム海外現地法人、代理店の所在地一覧表はお近くの富士フイルムサービスステーションにおたずねください。なお、海外での修理は対応できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

主な仕様

使用フィルム	135（35mm）ロールフィルム（DXマーク付き）
画面サイズ	24mm×36mm
レンズ	スーパーEBCフジノンレンズ　5群6枚構成 f=28mm〜56mm　1：2.8〜5.4
ファインダー	実像式ズームファインダー　0.33倍〜0.58倍　AFフレーム 近距離補正マーク　AFランプ　露出警告ランプ
距離調節	アクティブオートフォーカス　0.4m〜∞　AFロック付き 遠景モード（レンズ遠距離セット） AFランプ
シャッター	電子式プログラムシャッター（2秒〜1/360秒）
露光調節	自動調節 連動範囲　ISO100：広角（28mm時）EV8（*2）〜17 望遠（56mm時）EV11（*4）〜17 ISO1600：広角（28mm時）EV8（*4）〜17 望遠（56mm時）EV11（*4）〜19 （＊はスローシャッターモード時） 露出警告ランプ　露出警告ブザー 露出補正：NP モード時以外で、－2EV〜+2EVの補正（0.5ステップ）
NP モード	明るさに応じて最適な露出制御（0〜+2EVの補正）
フィルム感度	自動設定（DX方式による）　ISO50〜3200
フィルム装てん	オートローディング方式 フィルムが送られない場合は、シャッターロックおよび液晶表示部に“E”点滅
フィルム給送	電動式　自動巻き上げ　自動巻き戻し 途中巻き戻し可能（途中巻き戻しボタンによる）
フラッシュ	スーパーデジタルプログラムフラッシュ　フラッシュボタンによる リトラクタブル式　充電時間：約0.5秒〜5秒

主な仕様

撮影モード	スローシャッターモード／赤目軽減モード／ セルフタイマーモード／リモコンモード／遠景モード 赤目軽減モードの方式：7回プレ発光し、8回目にフラッシュ発光
セルフタイマー	電子式　作動時間：約10秒／約2秒　途中解除可能 セルフタイマーランプおよびブザー音付き
液晶表示	フィルムカウンター（順算式）　NP モード スローシャッターモード／赤目軽減モード／ セルフタイマーモード／リモコンモード／遠景モード 露出補正　日付　電池容量　フラッシュ充電中 ブザー音ON／OFF
電源	リチウム電池 CR2　1本
その他	日付機能　リモコン対応　ブザー音　三脚ねじ穴付き
大きさ	109.5mm×62.0mm×36.0mm（突起部除く）
質量（重さ）	155g（電池別）

＊仕様・性能は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

富士写真フイルム株式会社　富士フイルム イメージング株式会社

●お買い上げ製品についてのお問い合わせは…

お客様ご相談窓口 富士フイルム イメージング株式会社

ナビダイヤル 0570-002236
※全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS等からご利用の場合は、お近くの各支社までお問い合わせください。

受付時間：月曜日〜金曜日　午前9：30〜午後5：00　土日祝祭日休み
※年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。

東京支社	〒105-8443 東京都港区虎ノ門1-2-8　虎ノ門琴平タワー	TEL（03）6203-6820
大阪支社	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-5-11	TEL（06）6205-6411
北海道支社	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2　札幌三井ビル別館	TEL（011）241-7163
東北支社	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1　仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2121
名古屋支社	〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19	TEL（052）203-5261
中国支社	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35　広島産業文化センター	TEL（082）256-3311
九州支社	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-0232

●お買い上げ製品の修理の受付は…

札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022 東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008 名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051 大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816 広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018 福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

※土曜、日曜、祝日、年末年始は休業させていただきます。その他夏期等休業させていただく場合があります。
●東京、名古屋、大阪：富士フイルムサービスステーションは、通常の土曜日（祝日、年末年始、夏期休暇以外）は営業しております。
ただし、受け渡し業務のみとなります。

●富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日〜金曜日　午前9：30〜午後5：00）TEL（03）3406-2981
富士フイルム ホームページ　http://fujifilm.jp/

Printed in Indonesia　FPT-507111-Ci-01